

ケアマネ通信おびひろ

第53号

目次

1. 第10回 介護支援専門員協会全国大会 in 北海道
2. 平成28年度 第1回学習会「美味しく食べる」を支えるケアマネジメント
3. いやしのオフタイム
4. ケアマネの輪

第10回介護支援専門員協会全国大会・北海道

今回の全国大会は北海道開催ということで帯広市ケアマネ連協としても会員の皆様から参加者を募集し、たくさんの方に参加して頂きました。

全国から783名が北海道・札幌に集結

老人保健施設あかしや 濱功之



日本介護支援専門員協会第10回全国大会 in 北海道 Facebook よ

平成28年10月15、16日、北海道札幌市で開催された『第10回日本介護支援専門員協会全国大会』に参加させていただきました。

10回目という節目を迎えた本大会のテーマは『Care Managers, be ambitious!』～介護支援専門員よ大志をいだけ!～でした。全国の先進的な実践、最新の制度動向を学び、たくさんの気づきと鋭気を養うことができました。大会には全国各地より783名の方が参加されたそうです。

日程は以下の通りでした。

1 日目

基調講演『地域包括ケアシステムの構築とケアマネジャーの役割』

講師：厚生労働省 老健局 振興課 課長補佐 佐藤美雄氏

シンポジウム『Care Managers, be ambitious!～自立支援と公正中立のエビデンス』

座長：日本介護支援専門員協会会長 鷲見よしみ氏

シンポジスト：前沢政次氏、五十嵐智嘉子氏、伊藤たてお氏、中林弘明氏

記念講演『RESTART! More challenge! ～夢を主語に、挑戦するまちへ～』

講師：北海道夕張市長 鈴木直道氏

熊本災害特別講演

講師：熊本県介護支援専門員協会理事長 加來留氏

2 日目

分科会（研究事例発表）

第1分科会『医療と介護の連携・ターミナル期支援』

第2分科会『認知症の人への支援』

第3分科会『ケアマネジャーの人材育成と事業所運営の工夫』

第4分科会『地域包括ケアシステム及び多職種連携 1』

第5分科会『地域包括ケアシステム及び多職種連携 2』

第6分科会『ケアマネジメントの質の向上』

全体会・分科会報告

大会の2日間は気温も高く、会場も参加者の熱気でムンムンでした。全国大会に参加されるケアマネジャーは流石です。

2つ日間ともバリーグのクライマックスシリーズの真ただ中であつたにも関わらず、誰も野球の話題を口にする事なく、速報にも目もくれず真剣に講演を聞いておられました。

1日目で個人的に印象に残った講演は鈴木直道夕張市長の講演でした。夕張の再興にむけて様々な取り組みを紹介されておりましたが、抜群のルックスと、興味を引きつける話術に会場中の女子がメロメロに・・・

その状況に愛仁園の塩見さんが苛立っていたのを僕は見逃しませんでした。

夕張市長、彼はきっと大物になることでしょう。



日本介護支援専門員協会
第10回全国大会 in 北海道
Facebookより



チーム帯広市介護支援専門員連絡協議会



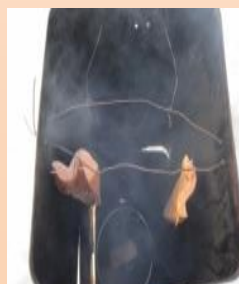
大きな事故もなく大盛況だった今大会。来年は『北陸石川県金沢』での開催となります。今回、全国大会に参加させていただき、運営にも携わることができました。全国のケアマネジャーの皆様とつながれたこと、たくさんの学びができたことに感謝いたします。本当にありがとうございました。

いやしのオフタイム

ワインと燻製を家族とともに楽しむ

指定居宅介護支援事業所向日葵 玉田 裕之

こんにちは！今年6月末から向日葵で初めてケアマネの仕事を始めました。年齢は60歳になります。皆さんには何かとお世話になる機会も多いと存じますので宜しくご指導いただければ幸いです。私のお気に入りの時間はワイン（alc1%未満のもの）や燻製作りを楽しむことです。ワイン用の葡萄「山ソービニオン」と「セイベル 13053」を手に入れる機会に恵まれたため収穫から瓶詰までを楽しみました。「おとふけヌーボー」の誕生です。助手をしてくれるのは妻でいつもよく遊んでくれます。子供たちが小さい頃の今時期、道路に落ちていたビートを拾ってきて煮詰めて糖蜜になることを教え、更にその液にイースト菌を加え瓶詰にしてビールができることも教えました。あんなに沢山遊んでやったのに今は素知らぬ顔です。燻煙器も薬のガンガンやお煎餅の入っていたものを加工して20年以上前に造ったものが今も現役稼働しています。そうそう、何もしないでビンテージワインを手に入れる方法があるのでお教えします。私はワイン通ではないのでそれが正しい保存法かどうかの確証はありませんが・・・20年位前から十勝ワインのビンテージ年や記念ワインが発売されたとき少しずつ購入して自宅のワイセラー（むろ）に貯蔵しています。少し辛抱して（10年程？）時間さえ立てばラベルにカビが少しついてきてそれらしい雰囲気醸し出し、もうその年には市販されていないワインを楽しむことができます。（ちなみに私が最初に購入したワインはアムレンシスで去年復刻版が限定ででしたが、それは違う製造停止になったものです）私の次の楽しみはこのワインを息子（まだ未婚）の嫁たちと楽しむことです。私自身も高齢者になり最近老いを身近に感じるようになりました。遅咲きのケアマネなので優秀なケアマネは目指していません。お年寄りと向き合い、老いがもたらす不安や喪失感を共に感じ、そしてビンテージワインのように年を重ねることで訪れる楽しみを共に喜べるケアマネになりたいと思っています。



ケアマネの輪

居宅介護支援事業所すみれ 藤村 治代

みなさんこんにちは。居宅介護支援事業所すみれで平成27年4月よりケアマネジャーとして勤務しています、藤村治代です。

ケアマネの仕事をはじめてからは毎日が勉強の連続で、同じ事業所の先輩ケアマネのみなさんにいつも優しく指導や助言をもらいながら日々業務を行うことができています。早いものであつという間に1年半が過ぎようとしています。

研修や業務で知り合った他の事業所のケアマネのみなさんにもいつも支えられていて本当に周りのみなさんのおかげで毎日をご過ごすことができているなあと感じています。感謝の気持ちで一杯です。

「毎日、前向きに楽しく」という気持ちを大切に美味しいチーズケーキを食べて、お笑い番組を見ては大笑いしながら英気を養い日々仕事に励んでいます。

今後ともよろしくお願ひします。



平成28年度第1回学習会 ～美味しく食べるを支えるケアマネジメント～

アースサポート 楠田 理枝

十勝歯科医師会 ますち歯科診療室 増地裕幸先生

先生からは食べ物が入る口の中に入り、どのようにして飲み込むのかなど専門的なことを話して頂いた。唾液と混ぜて飲み込むなど、普段普通に行っていることであるが、考えたことがないことを振り返ることができた。唾液を出すために食事前のマッサージも効果的であることを話された。マッサージのやり方を勉強して、利用者さんに教えてあげよう、粉薬はぬるま湯、錠剤は水が飲みやすいことも教えてあげようと思ふ。



十勝歯科医師会在宅歯科医療連携室 渡辺トモ子先生

こちらの先生には何度かお世話になり、担当者会議にも出席して頂いている。

先生からは死因の第3位が肺炎であること、そのうち80パーセントが誤嚥性肺炎である。舌が汚れていることや舌の根っこの筋力が落ちていることも肺炎の原因、要介護者の約9割は口に何らかの問題を抱えているとの話がある。そうだ、利用者全員の口腔問題を確認しなきゃと気持ちが引き締まる。

北海道栄養士会十勝支部 木村千恵里先生 音更病院管理栄養士

こちらの先生には生きること=食べること、利用者様は美味しく食べて在宅で生きることを望んでいると話があった。飲み込みが難しい利用者に桜餅を何とか食べさせたいと粘らない餅や飲み込みやすい餡子を研究して食べさせることができ、利用者からは美味しいとの言葉が聞けたと話された。私の母は飲み込みができなくなり、胃瘻にしてからは何も食べさせることができなかつたが何か工夫することはなかつたか後悔が頭をよぎる。また食形態情報提供書、簡易栄養状態提供書なるものがあることを教えて頂く。

研修会に参加して、他職種連携をすることが、みんなで知恵を出し合い、よりよい支援をすることができると改めて思った。研修会が終わり、やっぱり研修会に出てよかったと思う。次回研修会の申し込み書が来たらまた私は勢いよく出席に丸をするであろう。

【介護支援専門員連絡協議会からのお願い】

- ★連絡先や勤務先が変わったり、苗字が変更になった場合、HPにある「入退会・変更届出書」の書式を活用して速やかに届け出てください。
- ★会員への情報配信は可能な限りメールでの配信をお願いいたします。メールアドレスの登録についてのご協力をお願い致します。
- ★新規入会は随時受け付けています。入会申込書は、ホームページから入手できますので詳細については事務局にお問い合わせ下さい。
(事務局：帯広市社会福祉協議会 金井)

～編集後記～

今回は、日本介護支援専門員協会全国大会に参加された方々の感想を中心に編集しました。(普段より原稿量が多く、いつも以上に編集に時間がかかってしまいました)参加した方それぞれに学びがあり、本当に充実した研修だったんだなと実感できました。研修に参加されたみなさん、分科会の運営・進行に携わったみなさん本当にお疲れ様でした。